

MARK IS みなとみらいが取り組むSDGsへの新たな取り組み 「MIRAI BATON PROJECT(みらいバトン・プロジェクト)」が始動 — 「みんなの庭」から未来へつなぐ、地域循環型スチールカップ“MARK IS カップ” —

MARK IS みなとみらい(神奈川県横浜市／運営:三菱地所プロパティマネジメント株式会社)では、新たなSDGsの取り組みとして「MIRAI BATON PROJECT(みらいバトン・プロジェクト)」を10月より始動いたします。

2021年よりMARK IS みなとみらいは、「MARK IS みなとみらいで始める“good”なこと。」をコンセプトに、継続したSDGs達成のための活動“good project”^{※1}を行ってきました。5年目となる今年、更なる取り組みとなる「みらいバトン・プロジェクト」では、オリジナルデザインのスチールカップ“MARK IS カップ”を活用し新たな循環を生み出してまいります。



カップデザインイメージ



MARK IS カップ

地域循環型スチールカップ“MARK IS カップ”は、神奈川県鎌倉市で生まれたスチールカップです。(株式会社nalu・株式会社IBLC協働事業「Good Sharing Lab」の取り組み) プラカップの廃棄物量増加の課題に対し、リサイクル率93.5%のスチールを使用したカップで、プラカップよりも冷たく、美味しいという使用面の良さに加え、何度か洗浄しリユースすることも可能。錆びたら『鉄資源』として水質改善機能をもつブロック(鉄イオンを発生させる新素材)をつくり、海洋浄化や不良土壌、藻場再生に活用できる循環型カップです。

みなとみらいエリアは、かつて造船や鉄工といった「鉄のものづくり」によって地域産業を支えてきた歴史があり、この鉄の記憶を、スチールカップという新たな形で引き継ぎ、地域の歴史を未来へつなげる取り組みになると考えております。

また、施設開業以来、5階にある屋上庭園「みんなの庭」では、子どもたちが自然とのつながりを体感できるワークショップやイベントなどをこれまで年間約120回、開業から12年間で延べ67,000人の子どもに自然と触れ合う機会を創出してきました。「みらいバトン・プロジェクト」では、「みんなの庭」から始まる5つの再生をテーマにプロジェクトを進めてまいります。

- ① 「みんなの庭」で育てたハーブや野菜を季節ごとに循環させ、命のリレーをつなぐ**“庭の再生”**
- ② テナント等でのふぞろい野菜や未利用食材をアップサイクルする**“食の再生”**
- ③ 地域の旬や「みんなの庭」で採れた素材を味わい、健康的な食と体験を通じて心身をリフレッシュする**“からだの再生”**
- ④ スチールカップを回収・再資源化し、海洋環境を守る**“海の再生”**
- ⑤ ワークショップやイベントを通じて、人と人、街と自然が出会い、支え合う**“つながりの再生”**。



みんなの庭

これらの活動は、“MARK IS カップ”が人の手を通して循環していく「バトン」としての役割を担い、お客様や地域の皆さま、テナントの皆さまなど、さまざまな人々と協力しながらSDGs推進のための取り組みを実施していく予定です。

この機会にMARK IS みなとみらいは施設運営の枠を超え、地域・環境・人のつながりを生み出す“未来へのバトン”となり、「再生循環の拠点」の1つとなるよう新たな施設価値の創出への具体的な一歩を進めてまいります。

※1) 「good Project」サイト <https://www.mec-markis.jp/mm/statics/goodproject>

MIRAI BATON PROJECT 概要

「**MIRAI BATON PROJECT(みらいバトン・プロジェクト)**」とは、スチールカップ“MARK IS カップ”の活用を軸とした新たな循環を生み出すSDGs達成に向けた取り組みです。スチールカップは、リサイクル率が93.5%と高く、キンキンに冷えて美味しいという使用面の良さに加え、何度か洗浄しリユースすることも可能。錆びたら『鉄資源』として水質改善機能をもつブロック(鉄イオンを発生させる新素材)をつくり、海洋浄化や不良土壌、藻場再生に活用できる循環型カップです。そのスチールカップを各店舗や施設全体で活用し一丸となって取り組み、地球環境の保全に貢献していきます。



MARK IS カップ